一般助成　子どもの健やかな成長を願う事業（つながり・かかわり）

「『在日外国人児童が描く私の好きな日本』交流」事業

多様化・増大する在日外国人児童を対象に「私の好きな日本」を絵に描いてもらう

マスコミなどでは「ダイバーシティ」という言葉が多く発せられているが、社会の実態としては、多様性を認め合う真の理解は進んでいないように見える。「世界の共通語」である絵などの美術を通して交流することが平和に繋がると信じて事業を続ける団体が、在留外国人の子どもたちに「私が好きな日本」の絵を描いてもらう事業に取り組んだ。

「私の好きな日本」在日外国人児童の絵画展を告知するチラシ

在日ネパール人児童が描いた「私の好きな日本」

日本に在留する6ヵ国の子どもたちと日本の子どもが絵を通して交流する

日本に在留する外国人は年々、増加しており、外国人の児童生徒数は約10万人になっている。近年は中国、韓国、南米系の人々に加えて、フィリピン、ベトナム、ネパール、タイなどの東南アジア諸国からの在留者が増加するなど多様化が進んでいるが、その一方で、一部の国の人々に対するヘイトスピーチなど、十分な国際理解が進んでいない現実がある。また、社会的、経済的状況の変化などにより、安定的に学校に通い、学習を進めることが困難になっている在日外国人の児童生徒も見られる。

こうした現状を理解し、少しでもその状況を変えていくためには、日頃から在日外国人と触れ合い、お互いを理解し合うなかで、多文化共生社会の実現に努力していく必要がある。そこで、2008年以来、主にアジアの子どもたちが表現した絵を通して国際交流事業に取り組んできたNPO法人「国際教育情報交流協会（AEIIC）」では、そのノウハウや経験を活かし、自らが主管となり、「『在日外国人児童が描く私の好きな日本』実行委員会」を新たに組織し、主として造形活動を中心に、在日外国人児童と日本の子どもたちとの交流を実施することとした。

在日外国人児童については、在日外国人数に占める割合の高い上位12ヵ国に協力要請を行い、最終的に6ヵ国（北朝鮮、ネパール、インド、ミャンマー、フィリピン、カンボジア）の7団体が参加することになった。日本の子どもたちについては、コロナ禍ではあるが、参加したいと声をあげてくれた障がい者福祉施設、放課後デイサービスの3団体と交流を持つことができた。なお、コロナ禍の影響で今回参加できなかった国からも、来年は是非参加させてほしいと強く要望された。

クレヨンや墨絵によって描かれた子どもたちによる「私の好きな日本」

具体的な活動としては、「私の好きな日本」をテーマに、クレヨンによる絵の制作や造形積み木のほか、特別にワークショップとして、墨絵による共同制作を行った。ワークショップは、鈴石弘之さん（NPO法人「市民の芸術活動推進委員会」理事長）、清野義光さん（元全国造形教育連盟委員長）を指導者に、東京朝鮮第九初級学校とレストランルビー（ミャンマーの子どもたちが参加）で実施された。コロナ禍ではあったが、絵の制作、墨絵の共同制作を合わせ、251名の児童が参加し、事業全体の参加人数は約500名に上った。

子どもたちが描いた絵（絵198点、墨絵3枚）は、2021年2月16日～22日まで、東京都・四谷にあるCCAAランプ坂ギャラリーで展示され、約60名の来館者があった。また、実行委員会では事前に事業への参加を呼び掛けるポスターやチラシを作成し、配布したほか、児童が描いてくれた絵をすべてカタログ（画集）に掲載し、表彰状とともに、参加してくれた児童全員に贈呈。さらに展示会場やワークショップなどの模様を撮影してDVDを制作し、学校関係者などに配布したほか、YouTube（https://youtu.be/DWUn3kMmN8k）にも動画をアップするなど広報活動にも力を入れた。

参加した児童の保護者や学校関係者からは、「今回のような企画は初めて。私たちを取り上げてくれてありがとう」、「新型コロナで学校が休校していたが、絵を描くことで子どもたちが明るさを取り戻した」、「子どもの人生で初めて表彰状をいただき、大きな喜びになった」などの声が寄せられた。

会場に展示された子どもたちの絵

参加した子どもたちには、記念品にクレヨンを贈呈

助成団体：「在日外国人児童が描く私の好きな日本」実行委員会

無事に事業を終えることができ、安堵とともに意義の大きさを実感

改めて子どもたちの表現する絵の力を認識し、そのストレートに表されたイメージに眼を見張るばかりです。アジア地域の国という範疇のなかにおいても、各々のアイデンティティの発露が画面に現れ、その輝きの織り成すかたちの響き合いに、未来への光明を見出した次第です。事業に助成を戴きましたことに、お礼申し上げます。

「在日外国人児童が描く私の好きな日本」実行委員会
実行委員長　北海道教育大学名誉教授　相田 幸男さん